

# OSSTechのOpenAMへの取り組み



OSSTech

2012年10月19日  
小田切 耕司

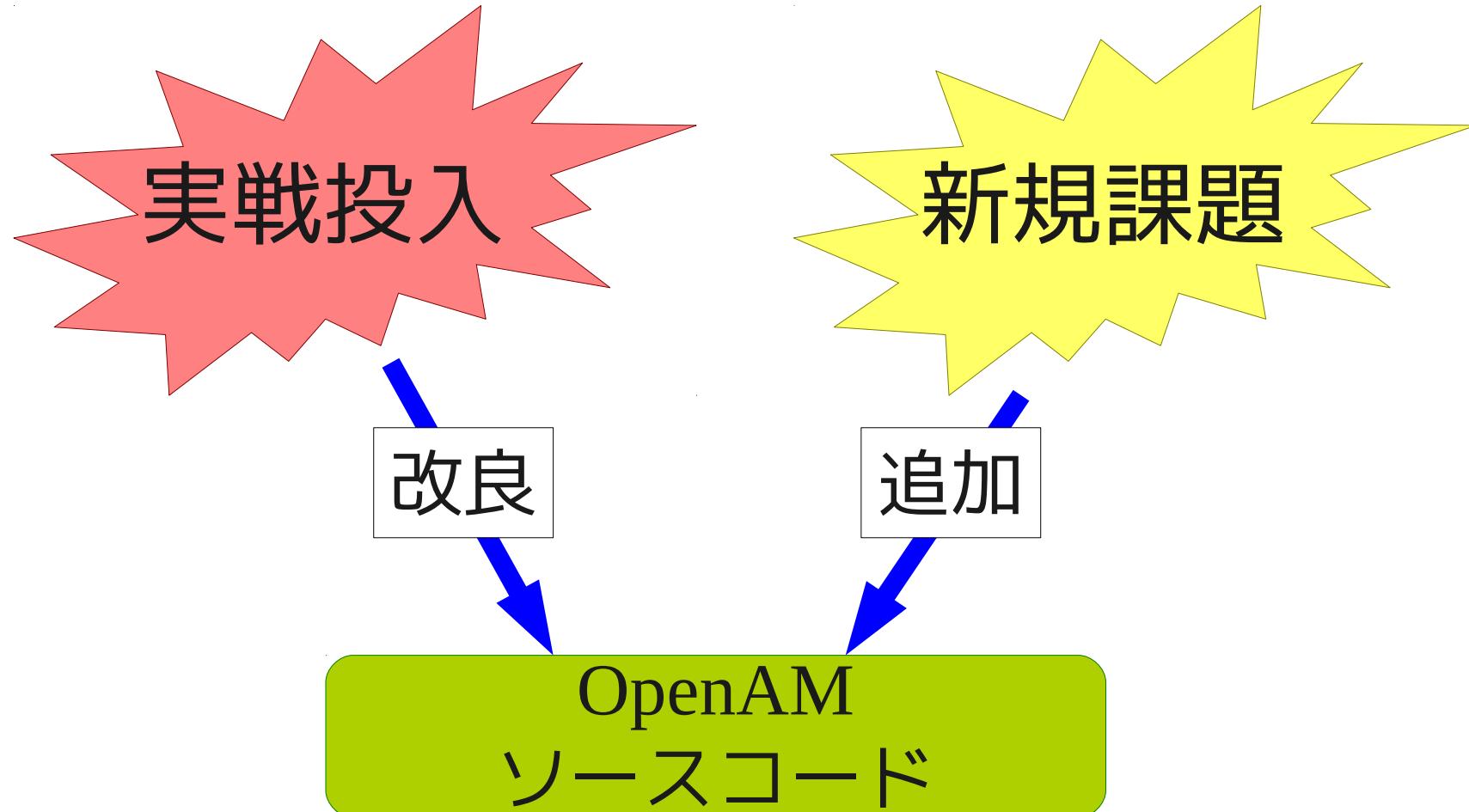
オープンソース・ソリューション・テクノロジ株式会社  
<http://www.osstech.co.jp/>  
お問い合わせ [info@osstech.co.jp](mailto:info@osstech.co.jp)

# アジェンダ

- OpenSourceであること
- ForgeRockソースツリーへ
- OSSTech版カスタマイズ
- 案件個別カスタマイズ
- 導入事例

# OpenSourceであること

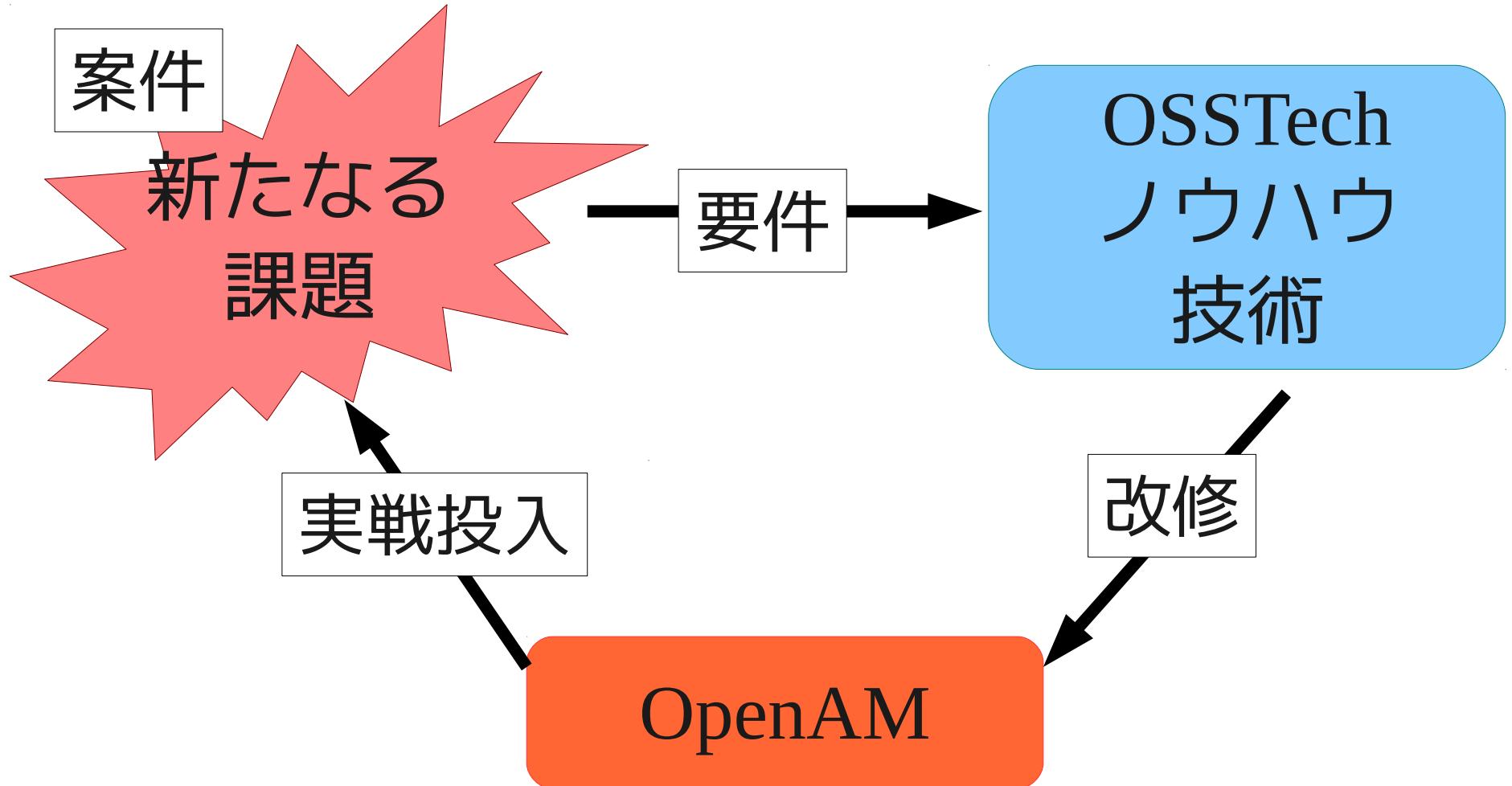
- ソース修正はオープンソースだからこそ



問題点の改良、要件に合わせた機能追加

# OpenSourceであること

- ソース改修力は課題解決力

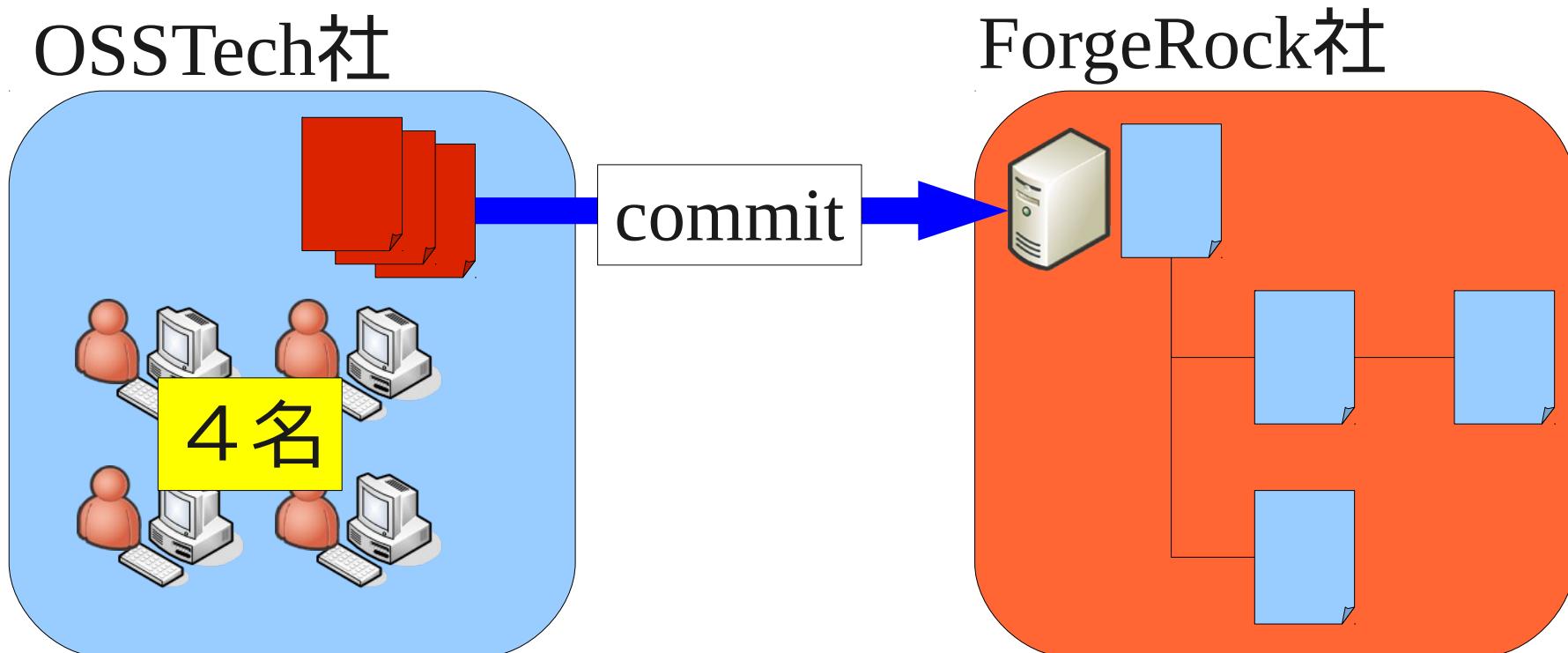


全てのサイクルをサポートできる

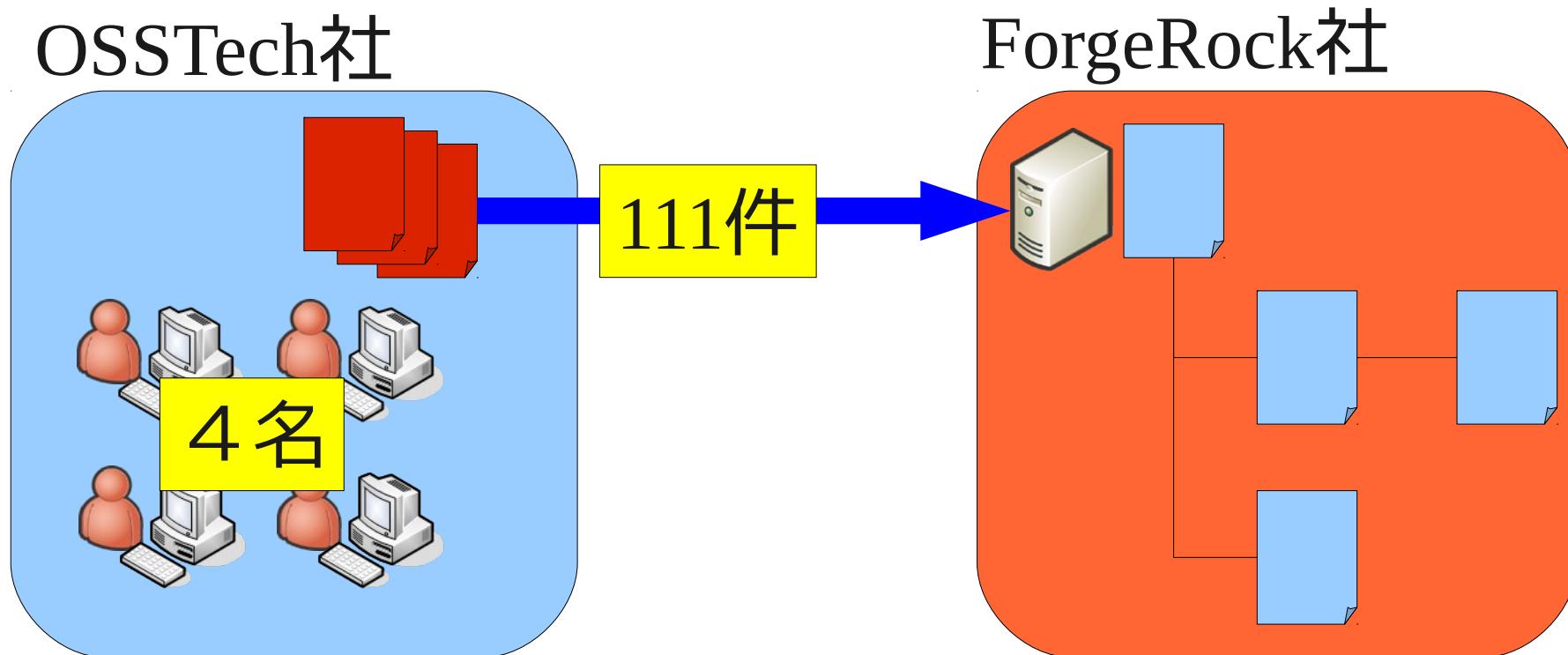
# ForgeRock

## ソースコード への貢献

- ・ 社内開発者6名
- ・ コミット権限のある社内開発者4名
- ・ OpenAM コミッター総数37名

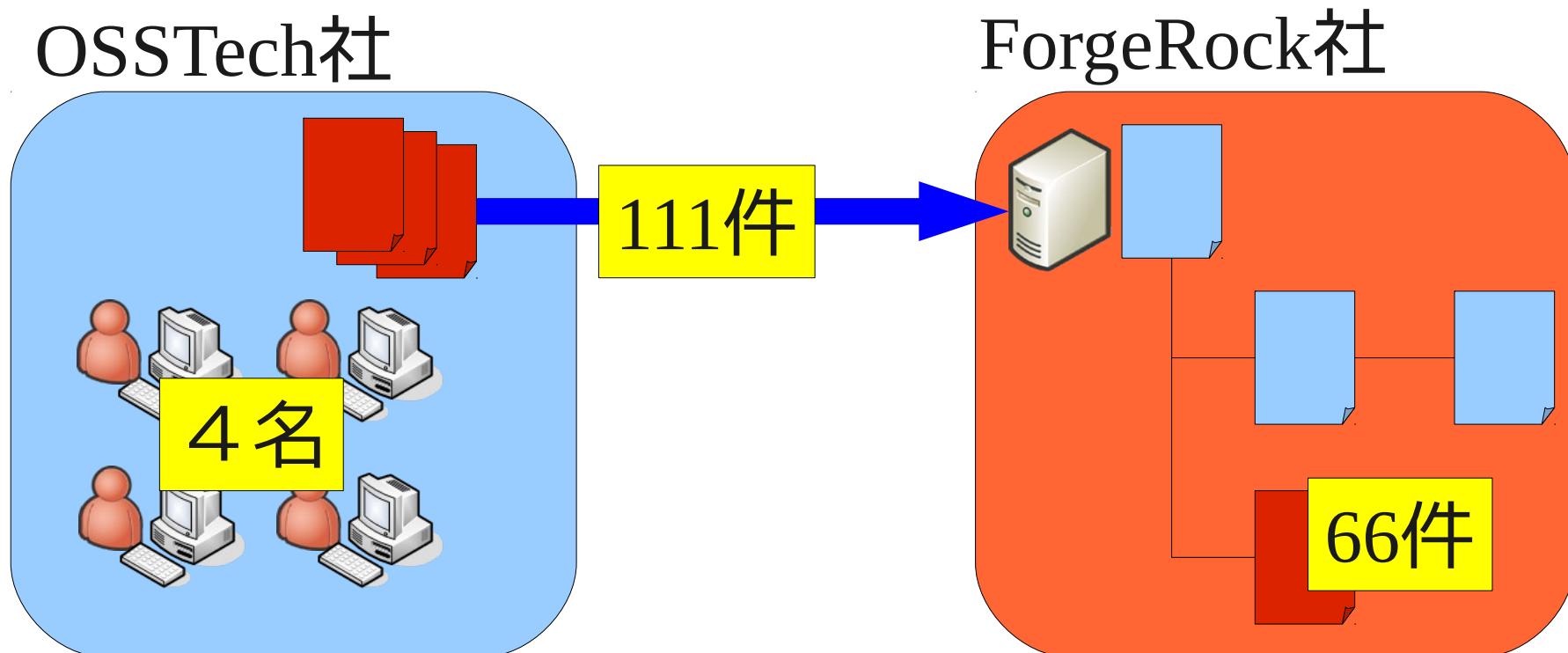


- ・ 社内コミッターによるコミット件数111件
- ・ ForgeRockツリーのコミット総数は3346件



# 問題修正件数

- ・ 社内コミッターによる修正件数66件
- ・ 現在のチケット数1739(重複等含む)



- nginxエージェント開発
- ユーザーデータストアの修正
  - JDBCの設定が共有されてしまう問題
  - ログ出力の改善
- コマンドツール(ssoadm など)の修正
  - エージェントの設定に不正な値が登録される問題
  - Windows 用ツールが動作しない問題
- ファイルアップロードの修正
  - Safari・Chromeでファイルアップロードが動作しない問題

# コミット例

- メモリリーク関連の修正
  - エージェントのメモリリーク
  - HTTPコネクションのリーク
  - DBコネクションのリーク
- マルチバイト文字
  - マルチバイト文字の表示の問題
- 日本語化
  - 日本語表示の追加
  - 誤訳の修正

## 問題の確認

修正

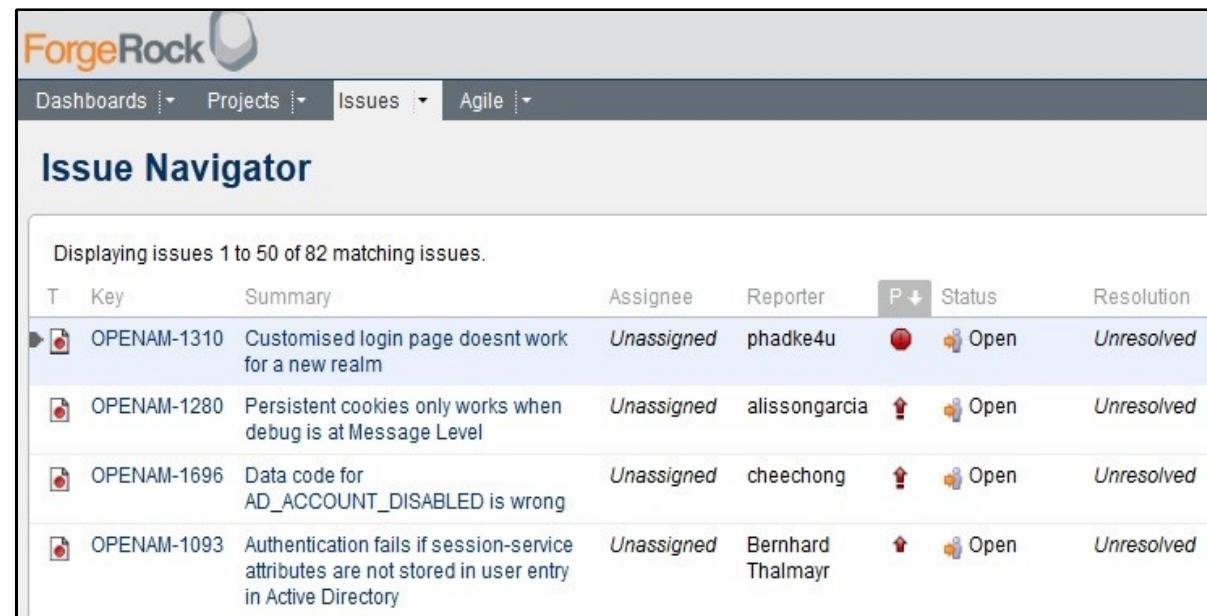
レビュー

適用

ステータス変更

ForgeRockのプロジェクト管理ツール(JIRA)でOpenAMの問題を確認する

- ・ 報告されていない問題  
→登録
- ・ 報告されている問題  
→解決していな問題は修正する  
→解決している問題は修正を適用する



T	Key	Summary	Assignee	Reporter	P	Status	Resolution
▶	OPENAM-1310	Customised login page doesn't work for a new realm	Unassigned	phadke4u	●	Open	Unresolved
▶	OPENAM-1280	Persistent cookies only works when debug is at Message Level	Unassigned	alissongarcia	●	Open	Unresolved
▶	OPENAM-1696	Data code for AD_ACCOUNT_DISABLED is wrong	Unassigned	cheechong	●	Open	Unresolved
▶	OPENAM-1093	Authentication fails if session-service attributes are not stored in user entry in Active Directory	Unassigned	Bernhard Thalmayr	●	Open	Unresolved

図：プロジェクト管理ツール(JIRA)

# 修正フロー

問題の確認

修正

レビュー

適用

ステータス変更

バージョン管理システム（Subversion）からソースコードを取得して問題を修正する

修正したコードにOSSTechのコピーライトを追加する

現在、150以上のファイルにOSSTechのコピーライトあり

```
/*
 * Portions Copyrighted 2012 ForgeRock Inc
 * Portions Copyrighted 2012 Open Source Solution
 * Technology Corporation
 */
```

図：コピーライトの例

# 修正フロー

問題の確認

修正

レビュー

適用

ステータス変更

コードレビューツール(crucible)で  
ForgeRockの開発者を交えてレビューを  
行う

The screenshot shows the Crucible interface for a pull request titled 'CR-398' from the 'Default Project'. The status is 'Closed' on '26 Apr'. The code review section shows a diff between 'PolicyViewBean.diff' (5 months and 16 days ago) and 'PolicyViewBean.java' (4 changes). The code editor highlights several lines of Java code:

```
574 import java.util.List;
575 import java.util.Set;
576 import javax.servlet.http.HttpServletRequest;
577 import org.owasp.esapi.ESAPI;
578
579 public class PolicyViewBean
580     extends RealmPropertiesBase
581 {
582     /**
583      * @param event Request Invocation Event.
584      */
585     public void handleTblDataActionHrefRequest(RequestInvocationEvent event) {
586         org.owasp.esapi.Encoder enc = ESAPI.encoder();
587         PolicyModel model = (PolicyModel)event.getModel();
588     }
589 }
```

図：コードレビュー(crucible)

# 修正フロー

問題の確認

修正

レビュー

適用

ステータス変更

レビューの完了したソースコードファイルをバージョン管理システム(Subversion)に適用する(コミット)

svn commit -m "OPENAM-985:: LDAPv3Repo and associated classes can cause leak in the shutdown manager due to LDAP exceptions"

図：コミット コマンド例

# 修正フロー

問題の確認

修正

レビュー

適用

ステータス変更

プロジェクト管理ツール(JIRA)でOpenAMの問題のステータスを変更する

修正した問題の一部はリリースノートに記載される

 Kohei Tamura made changes - 09/Jul/12 12:44 AM	Status	Open [ 1 ]	Resolved [ 5 ]
	Resolution		Fixed [ 1 ]

図：ステータス変更例(JIRA)

## 4.1. Fixes

The following issues were fixed in release 10.1.0.

- OPENAM-1246: More than 5 referral policies under a realm would hang PrivilegeEvaluator
- OPENAM-1221: WSSAgent can not sign request if security mechanism 'X509Token' and Signing Reference Type 'KeyIdentifier Reference' is configured in Web Service Client profile
- OPENAM-1205: Missing SAML2Exception handler in spAssertionConsumer.jsp means a 500 error page is shown rather than the configured OpenAM SAML error page
- OPENAM-1204: Creation of xamcl policy (entitlement) with cli ssoadm tool fails when using Secure Logging
- OPENAM-1054: MySQL (JDBC) IdRepo shares configurations in all realms in the wrong
- OPENAM-1047: isSessionQuotaReached does not work correctly if users session quota > 1

図：10.1.0 リリースノート(ドラフト版)抜粋

# OSSTech版カスタマイズ

- OpenLDAPと親和性向上 > **自社ソリューション**
  - OpenAMにOpenLDAP専用の設定を追加
  - OSSTech社製OpenLDAP向け拡張スキーマを用意

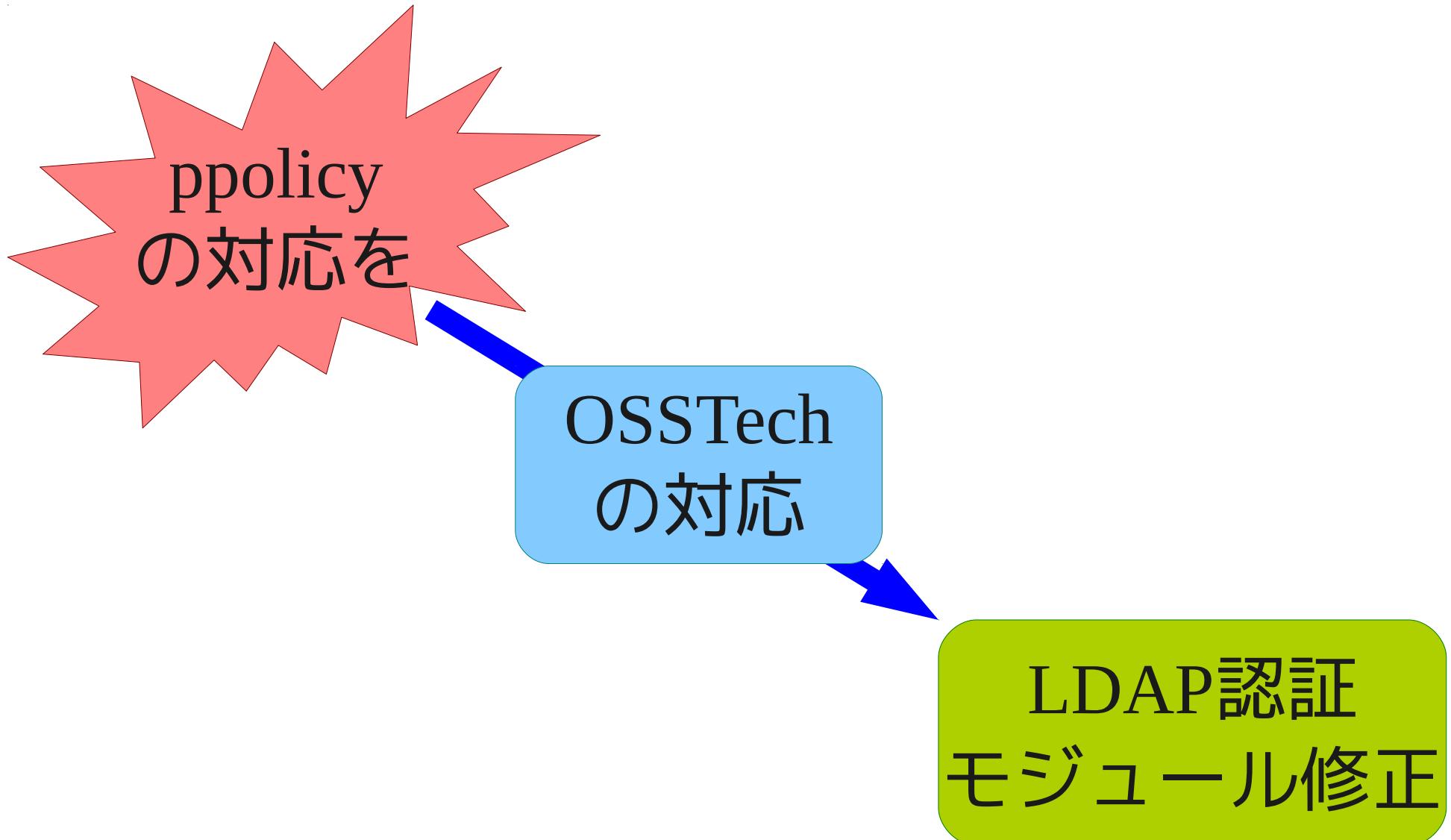


- Tomcatとの親和性向上 > 環境の統一化
  - › OpenAM向けにパラメータを調整したTomcatをOpenAMとセットで提供
- パッケージング > セットアップ容易化
  - › RPMパッケージとして提供
  - › Windowsインストーラー提供

- OpenAM10からのバックポート
  - › 重要な修正、必要な機能をバックポート
  - › 多重構成でのセッション数の共有
  - › ポリシーの設定方法の改善
  - › メモリリークの修正
- プラットフォーム毎にエージェントを提供
  - › RHEL5でも動作可能なApache2.2エージェントの提供
- 日本語化
  - › 画面の文字化け対策

# 案件個別カスタマイズ

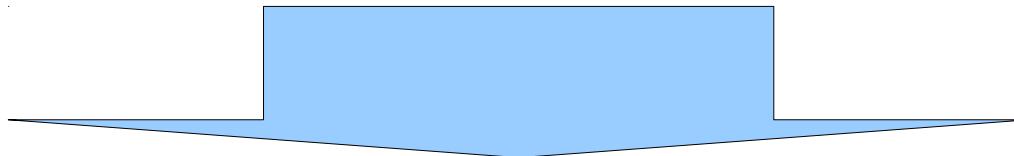
- OpenLDAP パスワードポリシー対応



# カスタマイズ事例

- OpenLDAP パスワードポリシー対応

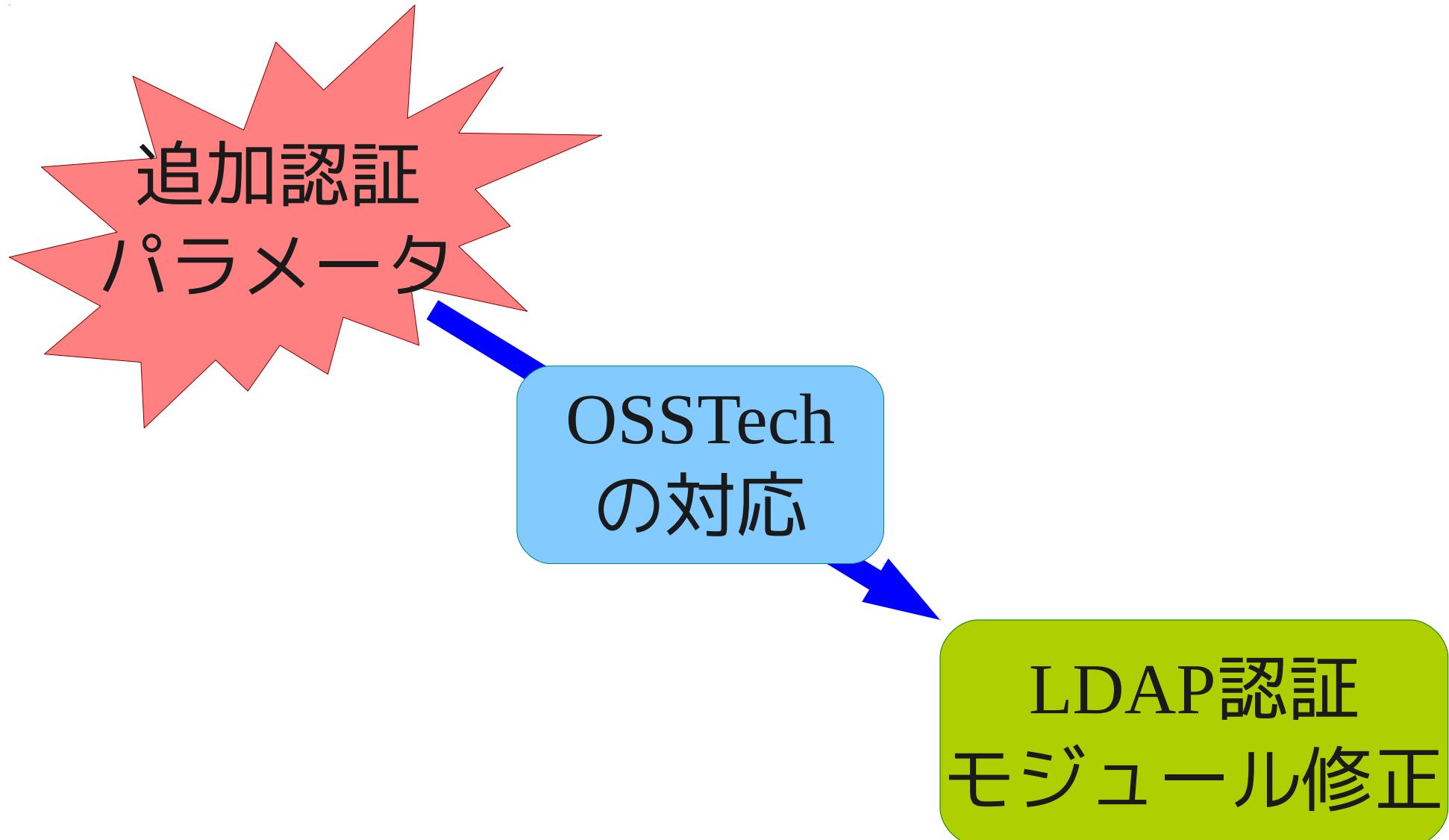
- OpenAM-9.5系ではLDAP標準のアカウントポリシー※に未対応
- 全て同一の認証エラーとなるという課題



- LDAP認証モジュールにLDAPのアカウントポリシー(パスワード有効期限、ロック等)エラーをハンドリングし、個別のエラー遷移するよう改修

※アカウントポリシーとはパスワード有効期限、アカウントロックアウト等  
SunJavaDSやOpenDSを利用する場合は独自実装で対応されていた。  
OpenAM-10から対応開始

- 認証パラメータの追加



- 認証パラメータの追加

- LDAP認証時に入力するユーザー名、パスワード以外に別パラメーターをドロップダウンリストとして表示し入力したい



- LDAP認証モジュールを別パラメーター取得、表示可能なよう改修した

OpenAM

OpenAM へのサインイン

ユーザー名:

パスワード:



OpenAM

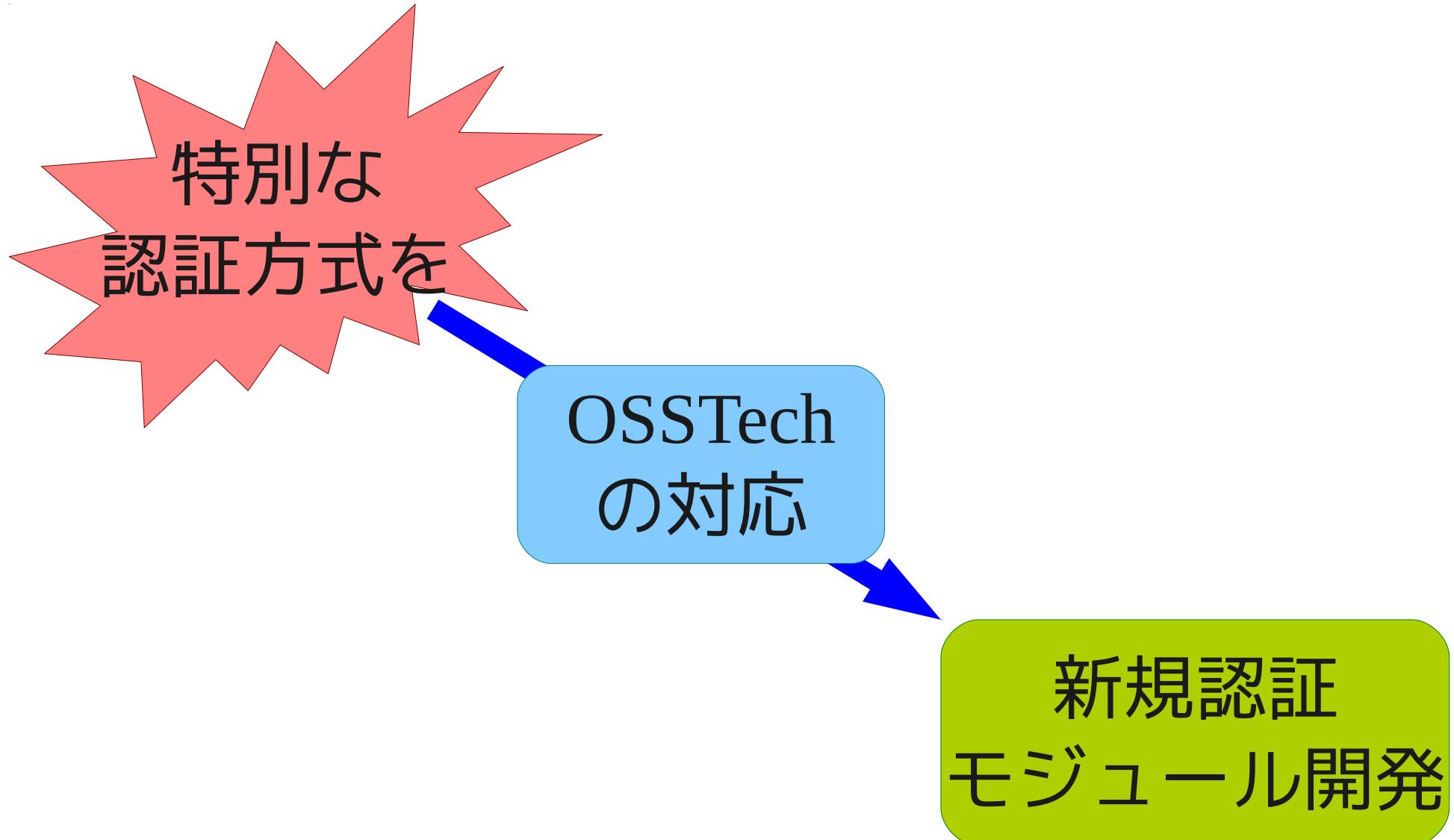
OpenAM へのサインイン

ユーザー名:

パスワード:

グループ:

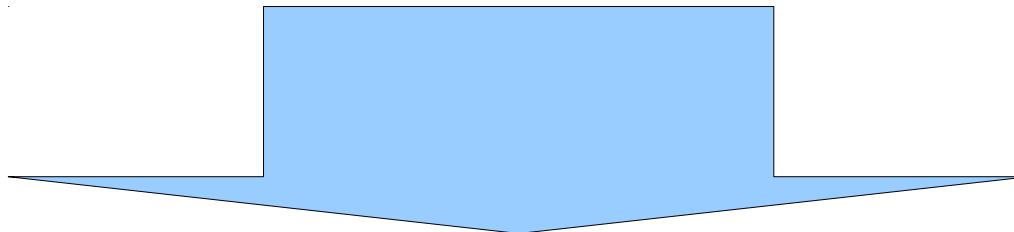
- 認証モジュールの開発



# カスタマイズ事例

- 認証モジュールの開発

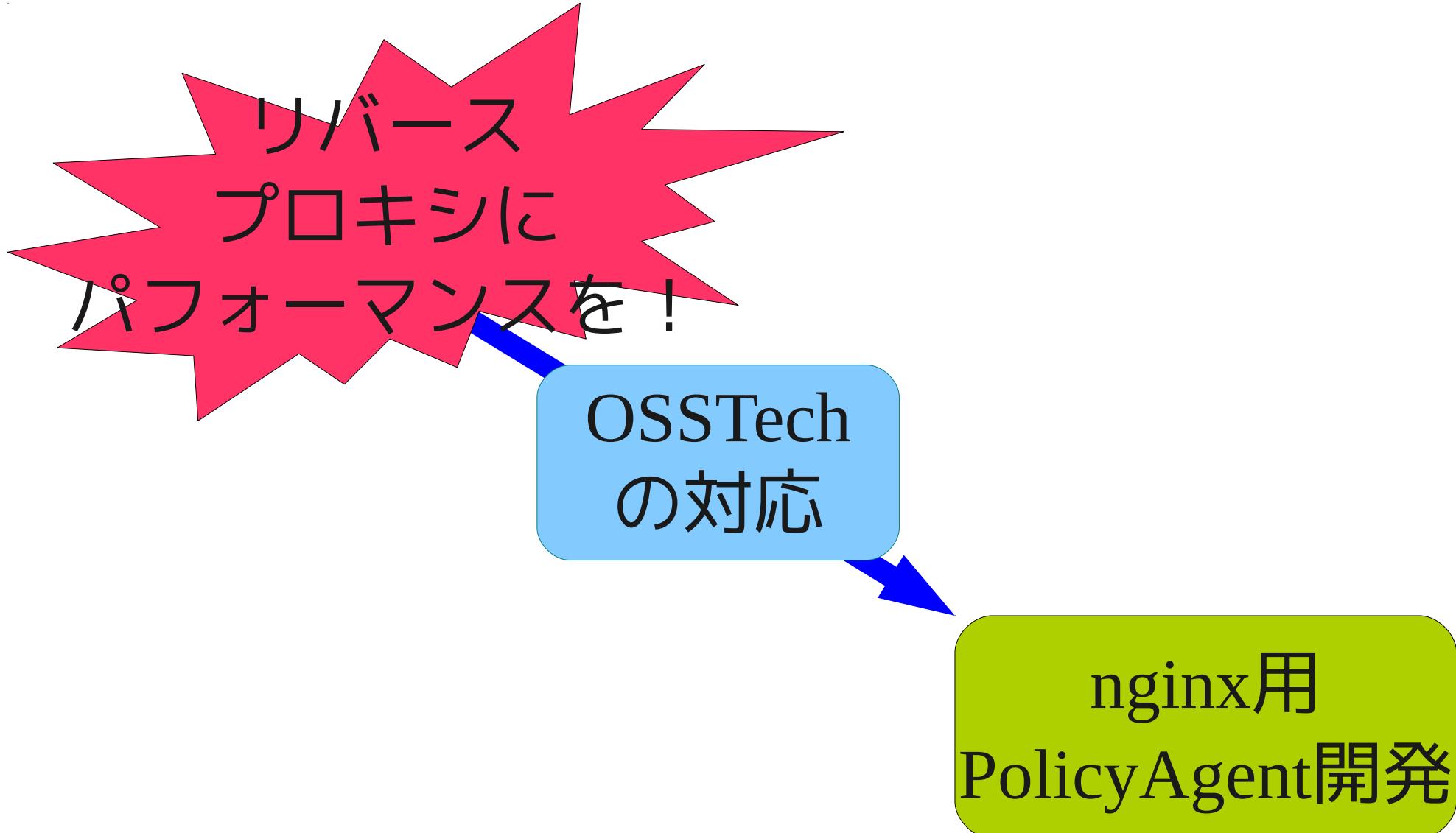
- 既存認証モジュールでは対応できない認証方式(リクエストヘッダ)で認証したい



- 要件に合った認証モジュールを開発し、既存モジュールとの認証連鎖とした。

# 開発事例

- Apacheより早いリバースプロキシを構築したい



- Apacheより早いリバースプロキシを構築したい

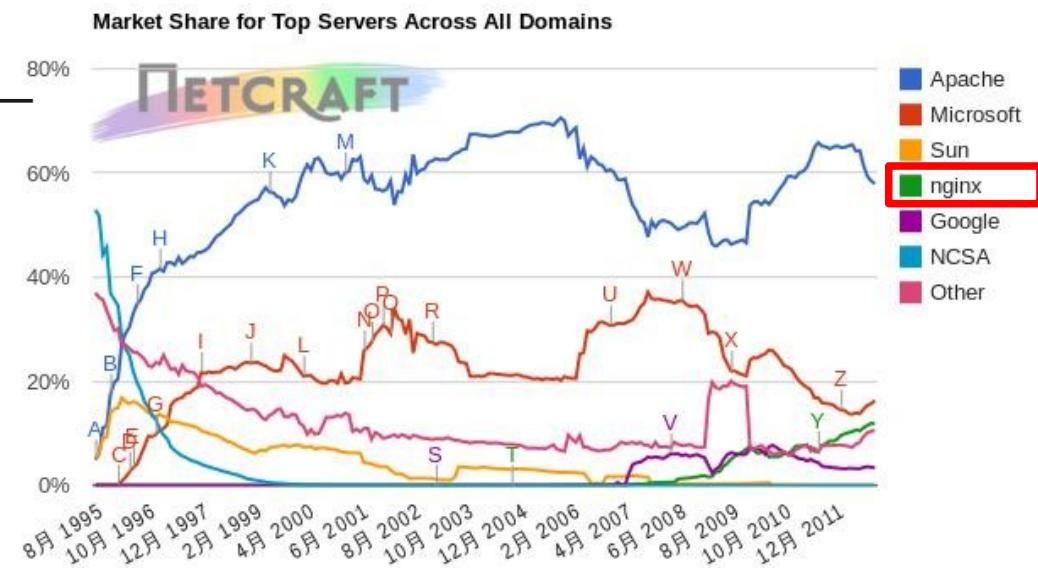
- Apacheによるリバースプロキシよりスケーラビリティが欲しい



- nginx※用 Policy Agentの開発

※nginxとはスケーラビリティ、パフォーマンスに優れる第三のhttpサーバー

netcraftの2011年資料  
第3位にnginxが伸びてきている  
apacheほど多機能ではないが、  
リバースプロキシ利用では  
十分の機能を持たせられる



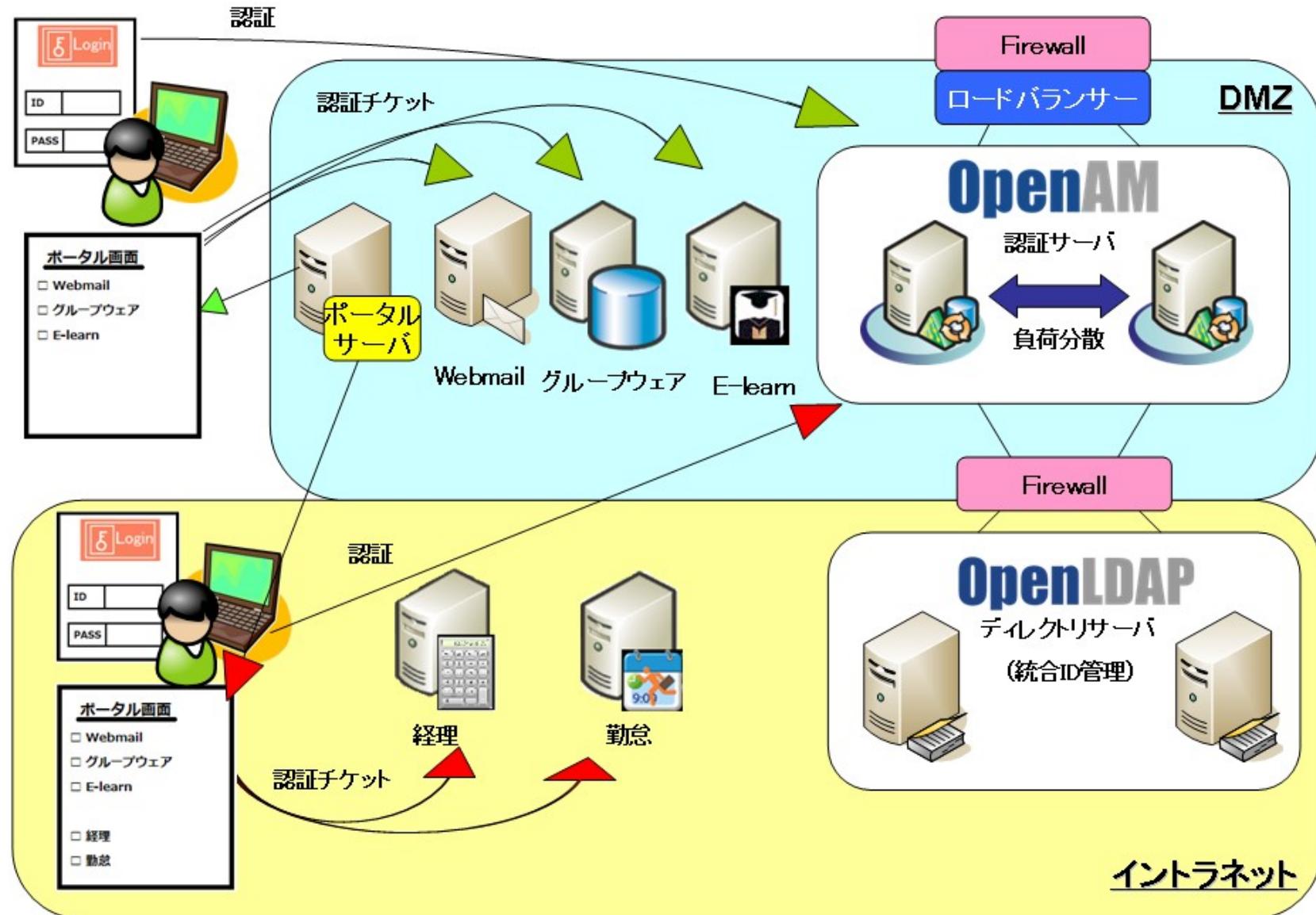
# 導入事例

国立大学法人 北見工業大学 様

# 北見工業大学様 システムの特徴

- ユーザー（学生や教職員）はOpenAMに一度ログインすると、複数のWebアプリケーションをログイン操作なしで利用できます。
- ログインするとポータルメニューが表示されます  
が、ユーザー権限やログイン場所(学内/学外)に  
よって表示されるメニューが変化します。
- ログインしたユーザーが利用できないアプリケー  
ションは表示されず、インターネットからログイ  
ンするとイントラネット専用アプリケーションも  
表示されません。
  - システム全体設計やプロジェクトとりまとめは、兼松エレクトロニクス株式会社が行いました。
  - シングルサインオン システム構築は、オープンソース・ソリューション・テ

# 北見工業大学様



学校法人 福岡大学 様

# 福岡大学様 システムの特徴

## 規模

9つの学部、2つの病院、22の付置施設で構成される総合大学

学生数 約21,000人

教職員数 約3,000人

## ミッション

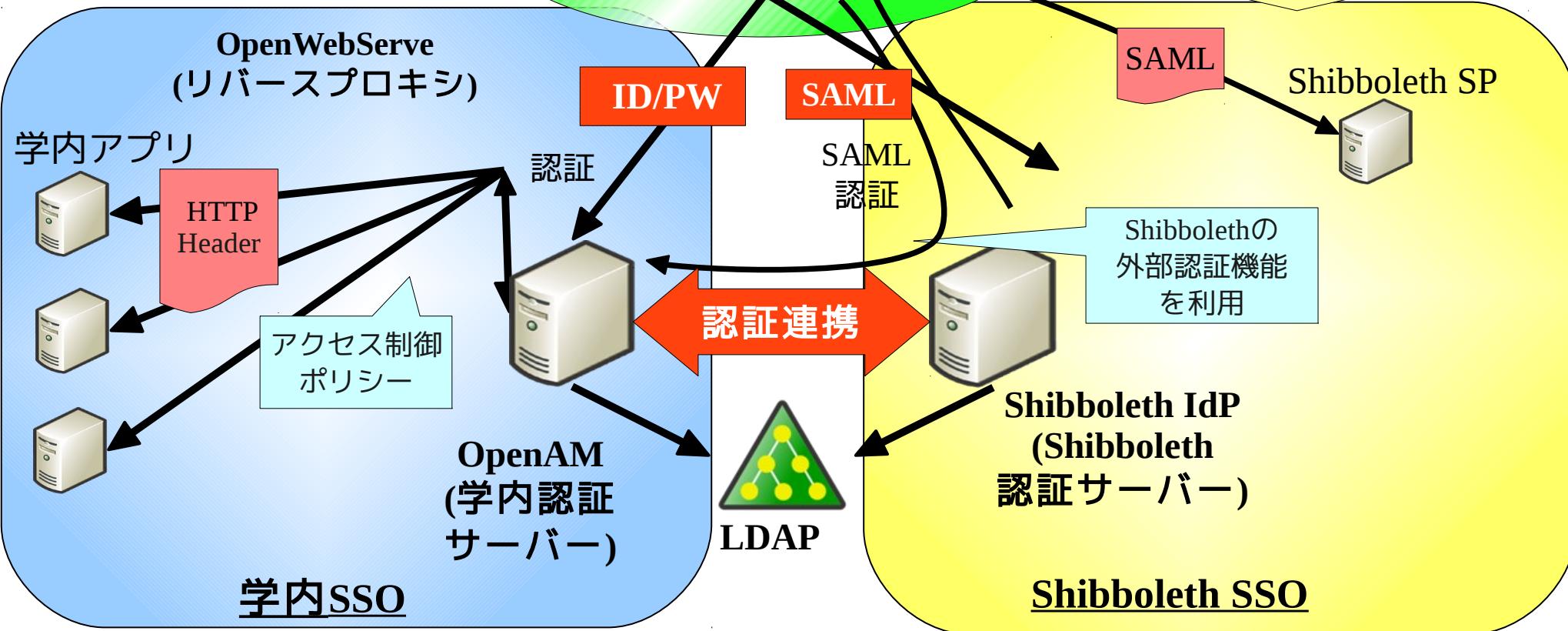
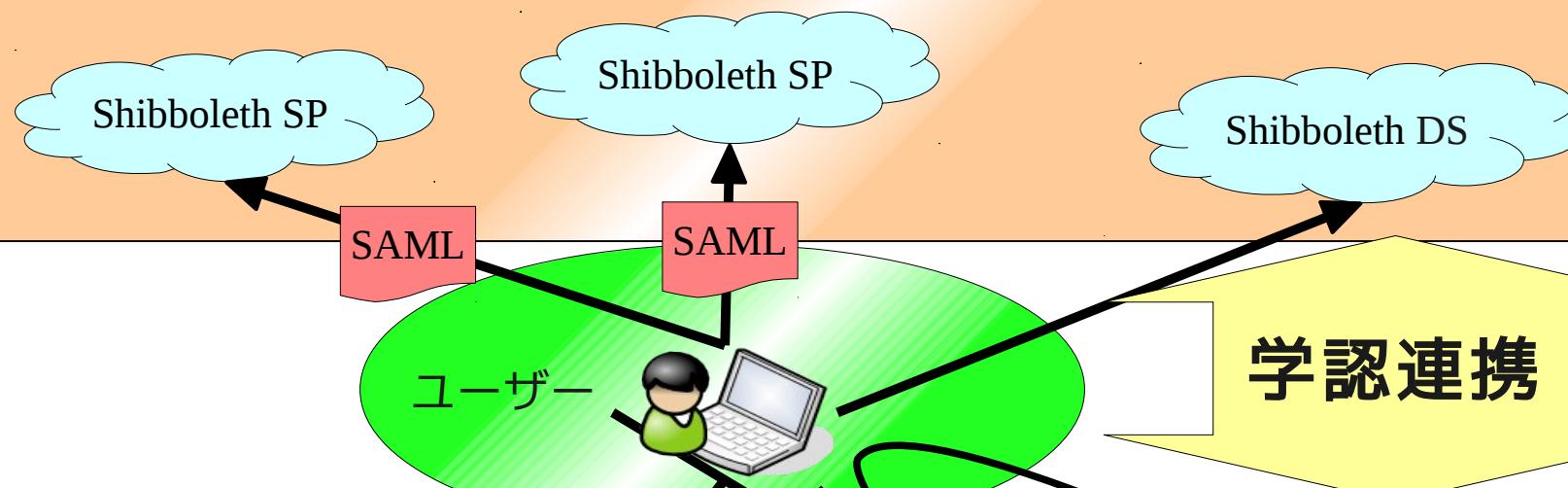
高い拡張性と柔軟性を持つ先進的SSO基盤の構築

**日立製作所**と**オープンソース・ソリューション・テクノロジ**で実現

- OpenAMとShibbolethによるハイブリッド型SSO基盤
  - システムのシングルサインオンを実現する認証基盤をOpenAMとShibbolethを使って実現
  - 様々なアプリケーションとのシングルサインオンを実現する基盤
  - ユーザーは1度の認証で学認と学内のアプリケーションを利用可能

# 福岡大学様

**学認**





OSSTech

オープンソース・ソリューション・テクノロジ株式会社

<http://www.osstech.co.jp/>

お問い合わせ [info@osstech.co.jp](mailto:info@osstech.co.jp)